

Soap & Glory ブランド、サプライチェーン全体で ブランド色を明確に指定



業界:
化粧品



ロケーション:
ワールドワイド



ウェブサイト:
www.no7company.com

店頭に並ぶソープ&グローリー商品の「ピンク色」は、リッチでインパクトがあり、入浴剤、スキンケア、化粧品、ギフトやアクセサリなど、多くの消費者を惹きつける商品ブランドに使用されています。商品のパッケージ素材を問わず、同じピンク色が一貫して印刷されることは、ブランドイメージを維持し、消費者を惹きつける要素です。

現物色見本やサンプルは、良好な色を生産するための第一歩です。No7 ビューティー社は長年にわたり、現物色見本を使用して色の期待値を伝達し、印刷時に調整するという作業を行っていました。ソープ&グローリーのコアブランドカラーであるピンクは、Pantone Coated Formula Guide がベースとする Pantone 701Cです。

当初は、Pantone の色見本を使用することでコンバーターに希望する色の視覚的なイメージが伝えることができ、ブランドカラーのコミュニケーションに大いに役立ちましたが、しばらくして、各種印刷パッケージや販促ツールなどに、色の一貫性がないことに気付きました。

さらに注視すると、ソープ&グローリーの商品ブランドに選ばれたキーカラーとなるピンクが、印刷される基材と手法によって、異なる色合いになっていることが判明しました。こうした色の不一致は、ビジネスにとって多大な時間と費用の無駄を生み、商品棚のブランド価値にも影響を及ぼしていました。

「現物サンプルを目視評価するプロセスからデジタルカラープログラムに移行することで、ソープ&グローリーのブランド色の一貫性の問題は、劇的に改善されました。世界各所で印刷されたプリントカラーを主観的に判断することは、時間とコストの無駄につながります。弊社では現在、複数の作業場においてエックスライト社のソフトウェアを使用し、印刷品質を監視することが可能になりました。印刷業者が品質を管理することにより、色が少しでも違っていれば出荷されず、店頭に並ぶ商品ブランドのイメージが損なわれることはありません。これは弊社や印刷業者、消費者にとって安心をもたらしてくれます。」

No7 ビューティー社
グローバル・アートワーク&プリント・マネージャー
クレイグ・ディヴィッス氏

課題

No7 ビューティー社がエクスライトの支援のもとで明確にした課題

1. No7 ビューティー社がコンバーターに色見本として提供した Pantone 701C はブランド色と近かったものの、実際にソープ&グローリー側が望んでいたピンクより「黄色」に近かった。この微妙な色の違いをコンバーターに言葉で伝えるのは非常に難しく、誤解を招く原因にもなっていた。
2. Pantone 701C は、オフセット印刷に使用されるコート紙用の色見本であり、コンバーターが常に同じ基材を使用する場合には機能するが、様々な基材を使用するパッケージの色見本としては不適切だった。
3. 現物サンプルは、長年の使用による色あせや損傷を受けやすく、印刷された Pantone 701C の色は経年変化し、コンバーターが参照する色のターゲットが少しずつ異なる状況にあった。
4. 各コンバーターの対応も異なり、パントン 701C に従う会社、パントン 701C を No7 ビューティー社が求めていると思われる色に補正した会社、そして単純に以前の生産ロットに従う会社等が存在した。

解決方法

No7 ビューティー社のカラーマネジメント方法の鍵となった「デジタル化と合理化」

- No7 ビューティー社は、エクスライトと協力しながら、Pantone 701C に代わる、ブランド・ビジュアル・アイデンティティ (BVI) の再設計を行い、ソープ&グローリー商品の新しいブランド色を定義。ソープ&グローリーのピンクは、明確に指定されたブランドカラーとして誕生し、アイデンティティを確立。
- 新しいブランド・スタンダードは、エクスライトによってデジタル定義され、デザインやアートワーク作成、パッケージ制作のワークフローで、誰もがアクセスできるよう、PantoneLIVE クラウドにアップロード。
- Pantone の色見本帳は、デザインと視覚的な色の選定のために効果的なツールである一方、PantoneLIVE のデジタルスタンダードを使用することで、30 以上の異なる印刷プロセスと基材の組み合わせにおけるソープ&グローリーのブランド色の再現可能性を事前に確認するシステムを実現。コンバーターは、インクの調色や印刷品質の確認を行うための分光データにアクセス可能。
- ソープ&グローリー商品のブランド価値を守るため、印刷されたパッケージの色を評価および管理する X-Rite ColorCert スコアカードサーバーを導入。印刷サプライヤーは ColorCert で生産結果を測定し、No7 ビューティー社のスコアカードサーバーにジョブスコアを提出することで、No7 ビューティー社はサプライヤーのパフォーマンスを確認できるようになり、コンバーターは自社の印刷品質確認を実施可能に。
- No7 ビューティー社は、カラー結果を客観的に確認できるようになっただけでなく、グローバルなパッケージサプライチェーンにおける印刷品質に関する状況をより具体的に把握でき、ブランド色の管理体制を強化。また、各コンバーターの品質を数値で評価・採点し、必要に応じて改善点を協議するシステムを設定。

結果

- 複数存在していたソープ&グローリー商品のピンクを、1つのデジタル ターゲットカラーとして定義
- 色差を、時によって 6 Δ E 以上存在していた状態から、現在の平均 1.3 Δ E未満に改善
- 30 通りを超える印刷手法、インク、基材の組み合わせにおいて明確な色の期待値を設定
- グローバルな印刷サプライチェーンの色品質を継続的に可視化



エクスライト社

〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10 テレコムセンター 西棟 6F
TEL : 03-6374-8734 E-mail : japanmarketing@xrite.com

<https://www.xrite.com>

[f xrite.jp](https://www.xrite.jp) [X xrite.jp](https://www.xrite.jp) [YouTube /X-Rite Japan](https://www.xrite.jp)

詳細情報
<https://www.xrite.com/ja-jp>